

## 第59回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成19年9月2日(日) 13時00分～15時30分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7名  
出席委員の氏名 中島 和晃 森 禎子 小島 隆雄 児玉 昭義  
欠席委員の氏名 久保田 隆治 奥田 友彌 島田 寛司  
放送事業者側出席 中丸 宗幸 須藤 一郎
4. 議題
  1. 番組編成に関して
  2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容  
議長：須藤 一郎  
出欠席者の確認をして会議に入った。  
次に本日の審議事項の発議を提案。  
会社側委員： 今回は「おはよう鎌倉」及び「スマイリングフェイセズ」を中心に審議いただきたいと存じます。  
委員： 生放送の番組はリスナーと時間や情報を共用することができるという意味でコミュニティ FM の核になると思う。特に出勤前などのローカルな交通や天気、その他、地域の様々な情報は有効である。「おはよう鎌倉」もベースは情報番組だから今後も多様なローカル情報をタイムリーに提供すべきである。  
委員： 音楽を交えたトーク番組の中でも「スマイリングフェイセズ」は若い世代がターゲットになると思う。一般論であるがトーク番組ではリスナーの存在を十分に意識した会話を心がけていただきたい。  
会社側委員： 番組の内容やトークに関してリスナーに納得していただけるよう心がけたい。放送番組に携わる多くの方に、プロ、セミプロ、アマチュアに関わらず、ボランティアで活躍していただいておりますが、地域の放送メディアとしてリスナーとの距離感にも留意すべく努力したいと思う。  
会社側委員： 9/1(土)から新番組「まぜこぜアートラボ」が放送開始されました。次回の審議会事項に提案したいと考えております。  
委員： 生放送帯番組のコーナーが独立した新番組と認識しております。  
会社側委員： 「カルチャークルージング」というコーナーが独立して時間枠も拡大された新番組です。  
会社側委員： 本日はありがとうございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日  
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し  
以上